

2022 年度
香川大学大学院創発科学研究科
修士課程

学生募集要項

(外国人留学生特別選抜)

2021 年 7 月
香川大学大学院
創発科学研究科

教育目標

教育学，法学，経済学，工学の専門的学問知を基盤としつつ，専門性の深化と異分野との組み合わせが可能となるカリキュラムを編成し，分野の総和を越える知と解決策を創出し，持続可能な社会の実現に貢献することができる人材を養成する。

求める人材像

- ・主ユニット（※）を想定した学修と研究に必要な基礎学力と思考力を有する人
- ・持続可能な地方分散型社会実現のために，専門だけでなく異なる分野も学んで解決策を導くことに強い関心と意欲を持つ人
- ・基本的な倫理観と社会的責任を理解できる能力，および基礎的な外国語能力とグローバルマインドを有する人

※本研究科では，専門的なテーマや解決すべき課題に即した専門科目群を「ユニット」と呼び，入学後に指導教員らのアドバイスのもとに必要なユニットを選択します。ユニットの中で中心的に学修する科目群が主ユニットです。

アドミッション・ポリシー

◇入学者に求める学力・能力・資質等

大学院入学までに以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

○知識・技能・理解力

異なる分野の知識を組み合わせで行う研究の基盤である専門分野に関する大学卒業程度の基礎的知識・技能・理解力

○思考力・判断力・表現力

社会構造の変化などによって引き起こされる複雑で複合的な課題の探究やその解決方法について，多角的な観点から論理的に思考・判断できる力，また，それらを説明できる表現力

○研究能力・応用力

異なる分野の知識を組み合わせた専門的な研究を深化させるための研究能力・応用力

○探求心・意欲・態度

関連する諸分野や異分野の知識を専門分野の知識に組み合わせながら相互作用させるための方法について学び，専門的かつ多角的な研究を志向する意欲・態度と創造的な探求心

○倫理観・社会的責任

社会構造の変化などによって引き起こされる複雑で複合的な課題を見出し，それらの解決を志向する責任感，人間尊重の態度と他者と共感できるコミュニケーション力，他の分野との協働を志向する姿勢及び倫理的態度

○グローバルマインド

主とする専門分野に加え、関連する諸分野に関する国内外の情報を理解する基本的言語能力と、国際的な視野・多文化理解の視点から、地域や社会における諸課題の発見と解決方法を考えることができる発想力

◇選抜方法の趣旨

○外国人留学生特別選抜

入学者の選抜は、専門分野別試験（筆記試験及び口述試験・面接）、及び出願時に提出を求める小論文や研究計画書等の書類審査を総合して行います（ただし、第Ⅳ区分（「専門分野別試験の区分」について参照）では筆記試験は課しません）。

専門分野別試験では、「専門分野別試験の区分」ごとに、各専門分野に関する基礎的知識・技能・理解力を評価する筆記試験を行います（第Ⅳ区分は除く。）。また、提出書類（志望理由書、研究計画書等）を参考にしながら、各専門分野に関する基礎的知識・技能・理解力、研究に対する意欲・態度・探求心、自分の考えを論理的に構築し伝達する思考力・判断力・表現力、研究を遂行するために必要な能力、社会的責任を理解できる能力や国際的な視野、多文化理解を評価する口述試験・面接を行います。あわせて、出願時に提出された小論文により、多角的な観点から論理的に思考・判断できる力や、それらを説明できる表現力について評価します。

「専門分野別試験の区分」について

本研究科の入学者選抜では、専門分野別に実施する試験（専門分野別試験）があります。出願者は、自分が志望する指導教員に対応した「専門分野別試験の区分」が実施する試験を受験します。出願に先立って志望する指導教員と連絡をとり、研究分野や研究内容の確認を行ってください。また、各教員がどの「専門分野別試験の区分」に対応しているかは、「8. 指導教員一覧」（16 頁）を参照してください。

「専門分野別試験の区分」には以下のものがあります。第Ⅳ区分は、さらにⅣ-1～Ⅳ-7 に分けられます。

第Ⅰ区分（おもに教育・人文分野）

第Ⅱ区分（おもに法学分野）

第Ⅲ区分（おもに経済学分野）

第Ⅳ区分（おもに工学・芸術分野）

- ・Ⅳ-1：エクスペリエンスデザイン&アート・数理データサイエンス
- ・Ⅳ-2：建築・都市環境
- ・Ⅳ-3：防災・危機管理
- ・Ⅳ-4：情報システム・セキュリティ
- ・Ⅳ-5：情報通信
- ・Ⅳ-6：機械システム
- ・Ⅳ-7：材料物質科学

カリキュラム・ポリシー

- ①特定のテーマで紐づいた専門科目群をユニットとして多数用意することで、学生が希望する分野の履修特別研究に必要な知識を学びやすい環境を提供する。主ユニットに配置した基幹科目、応用展開科目による専門知識の深化と関連科目の履修による学びの幅を担保する。これにより、専門分野を体系的に学ぶことで専門能力を養うとともに、各自の探求するテーマに応じた関連科目を効果的に組み合わせて学ぶことで俯瞰力を養う。
- ②分野を横断して、異なる分野の知を学び結合をはかる学際的思考力を養成するために、研究科共通科目「創発の方法」等を配置する。これにより、創発科学を志向した学びと研究のための方法論を学び、分野を横断して知の結合をはかる上での基本的な能力や態度を養う。
- ③研究能力・応用力を養うために「特別研究Ⅰ・Ⅱ」を配置し、複数（主・副）の指導教員による修士論文の指導を実施する。これにより、創発科学研究科で学んださまざまな知識を統合し、多角的な指導を受けながら自身の研究テーマを探求することで、研究遂行能力や応用力を養う。
- ④思考力を養成する基礎として、研究科共通科目に「創発の基礎（D）」、「創発の基礎（R）」、「創発の発展」、「創発の思考」、「創発の実践」を配置する。これにより、複合的、複雑な社会課題に対しても分野を横断しながら前例にとらわれることなく解決策を考え抜くことの必要性を学び、創発科学を志向する上での思考力や探求心を養う。また、研究に必要な情報関連分野の概念や理論を理解するために、「創発の基礎（I）」を配置する。
- ⑤社会構造の変化の理解と高い倫理観の形成をはかるため、研究科共通科目「研究倫理」、「創発の基礎（R）」、「創発の基礎（I）」、「創発の発展」、「ELSI」を配置する。これにより、社会構造の変化に柔軟に対応しながら、高い倫理観を持って課題解決のための諸活動に携われるような能力や態度を養う。
- ⑥地域マネジメント研究科（ビジネススクール）と連携した「創発の方法」、「創発の実践」を配置し、アントレプレナーの素養と地域課題発掘と実践知の学びの機会を確保する。これにより、社会・地域課題の把握や研究成果の社会での展開の仕方（社会の中での実装）にかかわる能力や態度を養う。
- ⑦多文化を理解し、地域からグローバルに及ぶ多文化共生の課題を学ぶ「創発の発展」、「創発の視点」、「SDGs」、「ELSI」、「フィールドスタディ」を配置する。これにより、地域から地球規模に及ぶ範囲で発生している諸課題を理解し、自らの研究テーマと関連づけてそれらに対処する上での基本的な能力や態度を養う。

ディプロマ・ポリシー

本学大学院創発科学研究科（修士課程）では、その教育理念に基づき、以下に示す専門的な能力・態度を身につけた者に修士の学位を授与する。

①専門知識・理解

- ・主とする専門領域の高度な専門知識を修得するとともに異なる分野の知識と効果的に組み合わせる結合力を修得している。
- ・自らが用いた科学間、異分野間のコミュニケーションについてその限界や課題を説明できる。

②研究能力・応用力

- ・分野を横断して複合的、複雑、予見不能な社会課題に対する解決策を考え抜く思考力・研究を遂行する能力を修得している。

③倫理観・社会的責任

- ・新しい社会構造の変化（Society5.0, データ駆動型社会等）に柔軟に対応し、AI, IoT, オープンデータ等を活用しながら、高い倫理観を持って未来のあるべき社会を構想できる力を有している。また、それらを他者に対して説明することができる。
- ・自らが取組む課題を社会・制度といった多様な観点・文脈から捉えなおし、その意義や限界を説明できる。

④グローバルマインド

- ・異文化理解の重要性を認識し、地域から地球規模に及ぶ多文化共生の諸課題に対応可能な能力を有している。
- ・自らの研究テーマを、グローバルなスケールに位置づけ、文化・社会といった観点・文脈で捉えなおすことができる。

目次

1. 募集人員	6
2. 出願資格	6
3. 出願手続	6
(1) 出願書類の提出期限	6
(2) 出願書類の提出先	6
(3) 出願書類等	7
4. 選抜方法	8
(1) 学力試験	8
(2) 学力試験の日時及び場所	12
5. 合格者発表	13
6. 入学手続	13
(1) 入学手続期間	13
(2) 入学手続に必要なもの	13
(3) 入学時に必要な経費（2022 年度予定額）	13
7. 注意事項・その他	14
(1) 試験に関する全般的注意事項	14
(2) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う本学入学者選抜の対応について	14
(3) 長期履修学生について	14
(4) 障がい等のある入学志願者等との事前相談について	14
(5) 個人情報の取扱いについて	15
8. 指導教員一覧	16

1. 募集人員

第Ⅰ期	第Ⅱ期
若干人	若干人

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月31日までに修了見込みの者。ただし、学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び2022年3月31日までに卒業見込みの者は除く。

※出願前にインターナショナルオフィスに出願希望である旨連絡してください。

国立大学法人 香川大学 インターナショナルオフィス E-mail kuio-h@kagawa-u.ac.jp

3. 出願手続

(1) 出願書類の提出期限

＜第Ⅰ期＞

2021年7月26日（月曜日）から7月30日（金曜日）17時必着

＜第Ⅱ期＞

2021年11月24日（水曜日）から11月30日（火曜日）17時必着

(2) 出願書類の提出先

○郵送

〒760-8521

香川県高松市幸町1番1号

国立大学法人 香川大学 教育・学生支援部 入試グループ

※本学所定の封筒貼付用あて名シートをダウンロードして印刷し、角形2号封筒に貼付け、出願書類等を一括して封入してください。

※「簡易書留・速達」にて郵送ください。

※提出期限の最終日17時までに到着するように発送してください。

なお、期限を過ぎて到着した出願書類については、提出期間最終日の前日以前の消印に限り受理します。

○持参

それぞれの提出期間最終日（第Ⅰ期：2021年7月30日（金曜日）、第Ⅱ期：2021年11月30日（火曜日）のみ持参での提出を認めます。原則は郵送にて提出してください。

〒760-8521

香川県高松市幸町1番1号

国立大学法人 香川大学 教育・学生支援部 入試グループ

(幸町北キャンパス 研究交流棟2階)

※「封筒貼付用あて名シート」をダウンロードして印刷し、角形2号封筒に貼付け、出願書類等を一括して封入してください。

※窓口での受付時間は9時～17時です。それ以外の時間帯では受付を行いませんので注意してください。

(3) 出願書類等

出願にあたって、以下の書類を提出してください。なお、不備がある場合は原則として受理しません。また、提出された書類は、TOEICスコア証明書等を除き、返却しません。

入 学 願 書	本学所定の様式(1)により作成してください。
履 歴 書	本学所定の様式(2)により作成してください。
志 望 理 由 書	本学所定の様式(3-1)により作成してください。
成 績 証 明 書	出身大学長(学部長)が作成し厳封したものを提出してください。 ※本学卒業生及び卒業見込みの者は厳封の必要はありません。編入学した場合、編入学前に所属していた機関が発行する成績証明書を併せて提出してください。
卒 業 (見 込) 証 明 書	出身大学長(学部長)が作成したものを提出してください。 在学中の者は卒業見込証明書を提出してください
研 究 計 画 書	本学所定の様式(4)により、①研究の背景、②研究テーマの説明、③研究方法、④その他、特に記述したいことを、日本語(1,000字以内)または英語(500 words 以内)で記入してください。
検 定 料	30,000 円 ※入学願書と一連の「振込依頼書(入金票)」及び「領収書」に必要な事項を記入の上、下記のそれぞれの期間内に金融機関(ゆうちょ銀行除く)の窓口で振り込んでください。(ATMは利用できません。また、振込手数料は振込人負担です。)その際、 必ず入学願書の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。 <u>振込受付期間</u> 【第Ⅰ期】 2021年7月12日(月曜日)～2021年7月30日(金曜日) 【第Ⅱ期】 2021年11月12日(金曜日)～2021年11月30日(火曜日) (注) 通常、金融機関の窓口取扱時間の窓口取扱時間は平日 15 時ま

	です。土曜日、日曜日及び祝日は休業となりますので注意してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の様式により作成してください。
あ て 名 票	本学所定の様式により作成してください。
受 験 票 等 送 付 用 封 筒	角形 2 号の封筒に「(受験票等送付用) 住所記載シート」、及び、410 円切手を貼付してください。
在留資格を証明するもの	旅券の写し等を提出してください。また、現在、日本に在住している人は、住民票または在留カードの両面コピーを提出してください。
推 薦 書	日本国外に在住している人は、大学等が作成した推薦書を提出してください。指導教員による推薦書も可とします。(任意様式、日本語または英語で作成したもの)。
日本語能力試験の成績に関する証明書	日本語による学修・研究を行う志願者で、日本留学試験(日本語)または日本語能力試験を受験している人は、成績に関する証明書を提出してください(受験の時期は問いません)。なお、未受験で提出できない人が選抜において不利になることはありません。
小 論 文	本学所定の様式(6)に従い、以下のテーマについて小論文を作成してください。 「社会の複雑性や不確実性の高まりに伴い、私たちの暮らす地域や社会が予測・予見できない問題に直面することがさらに増えるといわれている。そのため、多角的な視点で問題を捉え、異なる分野の知見を取り入れながら課題解決に当たろうとする発想が重要である。特定の専門分野の見識だけでは解決が不可能な課題を一つ取り上げ、それがどのような問題か、また、どのような解決策が考えられるかを、日本語(1,000 字程度)または英語(500 words 程度)で論じなさい。」

4. 選抜方法

(1) 学力試験

入学者の選抜は、専門分野別試験(筆記試験及び口述試験・面接)、及び出願時に提出された小論文や研究計画書等の書類審査を総合して行います。ただし、第Ⅳ区分では、筆記試験は課しません。

専門分野別試験における口述試験・面接には、提出書類(志望理由書・研究計画書等)の評価も含まれます。

① 専門分野別試験

志願者は、志望する指導教員に対応する「専門分野別試験の区分」の専門分野別試験(第Ⅰ～Ⅲ区分は筆記試験及び口述試験・面接を課します。第Ⅳ区分は口述試験・面接のみを課します。)を受験します。「8. 指導教員一覧」(16 頁)を参照し、自分が受験する「専門分野別試験の区分」を確認してください。各「専門分野別試験の区分」の試験内容は以下のとおりです。

※ 第Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ区分においては、筆記試験が免除される場合があります。詳細は「●筆記試験免除について」(11 頁)を参照してください。

専門分野別試験の詳細

<第Ⅰ区分(おもに教育学・人文学分野)>

(ⅰ) 筆記試験

社会や教育における現代的な諸課題に関する問題を出題します。

(ⅱ) 口述試験・面接

口述試験・面接では、出願時に提出された志望理由書、研究計画書等に基づき、関連する基礎学力、専門知識等について問うとともに、「探究心・意欲・態度」、「倫理観・社会的責任」「グローバルマインド」(アドミッション・ポリシーを参照)などについて問います。また、出願時に提出された小論文に基づき、多角的な観点から論理的に思考・判断できる力や、それらを説明できる表現力を評価します。

※研究分野によっては、口述試験で専門分野に関する外国語能力を確認することがあります。

<第Ⅱ区分(おもに法学分野)>

(ⅰ) 筆記試験

下記の専門科目から1科目(志望する指導教員が指定する科目)を選択してください。各教員が指定する科目は、「8. 指導教員一覧」(16 頁)を参照してください。

法哲学、憲法、刑法、刑事訴訟法、労働法、税法、民法、民事訴訟法、商法、国際法、行政法、経済法、政治学

(ⅱ) 口述試験・面接

口述試験・面接では、出願時に提出された志望理由書、研究計画書等、および筆記試験の結果に基づき、関連する基礎学力、専門知識等について問うとともに、「探究心・意欲・態度」、「倫理観・社会的責任」「グローバルマインド」(アドミッション・ポリシーを参照)などについて問います。また、出願時に提出された小論文に基づき、多角的な観点から論理的に思考・判断できる力や、それらを説明できる表現力を評価します。

<第Ⅲ区分(おもに経済学分野)>

(ⅰ) 筆記試験

下記の専門科目から1科目(志望する指導教員が指定する科目)を選択してください。志望する指導教員が指定する科目は、「8. 指導教員一覧」(16 頁)を参照してください。

・経済学分野
経済理論、経済政策・財政、経済統計学
・経営・会計・商学分野
経営管理論、経営戦略論、企業論、保険論、マーケティング論、流通論、会計学、金融論

・観光・地域分野

商品学，サービス・マネジメント論，地域活性化論，都市計画，観光人類学，観光学，人文地理学

(ii) 口述試験・面接

口述試験・面接では，出願時に提出された志望理由書，研究計画書等に基づき，関連する基礎学力，専門知識等について問うとともに，「探究心・意欲・態度」，「倫理観・社会的責任」「グローバルマインド」（アドミッション・ポリシーを参照）などについて問います。また，出願時に提出された小論文に基づき，多角的な観点から論理的に思考・判断できる力や，それらを説明できる表現力を評価します。

＜第Ⅳ区分（おもに工学・芸術分野）＞

【Ⅳ-1 エクスぺリエンスデザイン&アート・数理データサイエンス】

(i) 筆記試験

筆記試験は課しません。

(ii) 口述試験・面接

口述試験・面接では，出願時に提出された志望理由書，研究計画書等に基づき，関連する基礎学力，専門知識等について問うとともに，「探究心・意欲・態度」，「倫理観・社会的責任」「グローバルマインド」（アドミッション・ポリシーを参照）などについて問います。また，出願時に提出された小論文に基づき，多角的な観点から論理的に思考・判断できる力や，それらを説明できる表現力を評価します。

なお，音楽，美術を中心に学修・研究を行う者については，口述試験において実技試験または作品の提出と口頭試問を課します。詳細は以下のとおりです。

【音楽】

★器楽

任意の器楽曲を暗譜で演奏してください。伴奏者が必要な場合は，受験者が同伴してください。

※演奏時間は10分程度とし，途中で打ち切ることがあります。

★声楽

任意の声楽曲を暗譜で演奏してください。伴奏者が必要な場合は，受験者が同伴してください。

※演奏時間は10分程度とし，途中で打ち切ることがあります。

★その他

任意の楽器による簡単な自由曲の演奏と口頭試問，または作品の提出と口頭試問を行います。

※作品の提出について

自作の1作品を出願時に提出してください。また編曲作品の場合は原曲名，作曲者名を明記してください。

【提出方法】

音声データによる作品提出の場合，ファイル形式はMP3，AACとし，提出するメディアの種類はCD-Rとします。紙媒体で楽譜，作品資料を提出する場合，コピーもしくはFinale等の楽譜浄書ソフトによるデータをPDFファイルとしてCD-Rに記録し，提出してください。なお，メディア・

楽譜の返却はしません。

【美術】

2年以内に制作した3～5点の作品の写真（画像）と、それぞれの作品についての説明資料をA4サイズのファイルにまとめてください。作品の写真（画像）サイズや説明資料の書式、ファイルのまとめ方は任意とします。

※ファイルは出願時に提出してください。また、ファイルの返却はしません。

**【IV-2：建築・都市環境】，【IV-3：防災・危機管理】，【IV-4：情報システム・セキュリティ】，
【IV-5：情報通信】，【IV-6：機械システム】，【IV-7：材料物質科学】**

（i）筆記試験

筆記試験は課しません。

（ii）口述試験・面接

口述試験・面接では、出願時に提出された志望理由書、研究計画書等に基づき、関連する基礎学力、専門知識等について問うとともに、「探究心・意欲・態度」、「倫理観・社会的責任」「グローバルマインド」（アドミッション・ポリシーを参照）などについて問います。また、出願時に提出された小論文に基づき、多角的な観点から論理的に思考・判断できる力や、それらを説明できる表現力を評価します。

● 筆記試験免除について（第Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ区分の専門分野別試験のみ）

志望理由書や研究計画書等の書類の審査により、専門分野において学修・研究を行うのに十分な能力が認められる場合は、筆記試験を免除することがあります。

筆記試験免除には、出願に先立って事前申請が必要です。希望する者は、以下の書類を下記期限までに提出してください。ただし、出願時には「3. 出願手続（3）出願書類等」（8頁）に記載されているすべての出願書類を提出してください。

なお、結果の通知は出願期間終了後となりますので、結果の通知を待たずに出願してください。

提出書類

- ・試験科目免除申請書（本学所定の様式（9）により作成してください）
- ・志望理由書（本学所定の様式（3-1）により作成してください。）
- ・研究計画書（本学所定の様式（4）により作成してください。）
- ・成績証明書

提出期限

第Ⅰ期：2021年7月19日（月曜日）17時必着

第Ⅱ期：2021年11月10日（水曜日）17時必着

提出先（※郵送での提出のみ受け付けます）

〒760-8521 香川県高松市幸町1番1号

国立大学法人 香川大学 教育・学生支援部 入試グループ

※「簡易書留」とし、封筒表面に「創発科学研究科 筆記試験免除申請書在中」と朱書きしてください。

ただし、第Ⅰ期：2021年7月17日（土曜日）、第Ⅱ期：2021年11月9日（火曜日）までの消印があるものに限り、提出期限以降に着いた場合でも書類を受理します。

審査結果

第Ⅰ期は2021年8月2日（月曜日）、第Ⅱ期は2021年11月22日（月曜日）以降に免除の可否を通知します。

（２）学力試験の日時及び場所

第Ⅰ期、第Ⅱ期ともに、第Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ区分と第Ⅳ区分で試験日時及び試験場が異なります。

【第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分を受験する者】

①学力試験日時

＜第Ⅰ期＞

2021年9月6日（月曜日）	
筆記試験	口述試験・面接
11:00～12:30	14:00～

＜第Ⅱ期＞

2021年12月27日（月曜日）	
筆記試験	口述試験・面接
11:00～12:30	14:00～

②場所

香川大学幸町南キャンパス（香川県高松市幸町2番1号）

【第Ⅳ-1～Ⅳ-7区分を受験する者】

①学力試験日時

＜第Ⅰ期＞

2021年9月7日（火曜日）
口述試験・面接
9:00～

＜第Ⅱ期＞

2021年12月27日（月曜日）
口述試験・面接
13:00～

②場所

香川大学林町キャンパス（香川県高松市林町 2217 番 20 号）

※ただし、専門分野別試験として「Ⅳ-1：エクスペリエンスデザイン&アート・数理データサイエンス」を受験する者で、かつ、音楽を中心に学修・研究を行う者については、口述試験・面接（実技）を幸町北キャンパス（香川県高松市幸町 1 番 1 号）で実施します。

5. 合格者発表

第Ⅰ期	2021 年 9 月 21 日（火曜日）9 時
第Ⅱ期	2022 年 1 月 18 日（火曜日）9 時

本学のホームページ上に合格者の受験番号を掲載します。また、合格者に対して、合格通知書を送付します。

本学 HP <https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/result/5316/>

※電話による可否の照会には一切応じられません。

6. 入学手続

（1）入学手続期間

2022 年 3 月 27 日（日曜日）17 時まで

- ・期間内に入学手続を行わなかった場合は、入学を辞退したものとみなします。
- ・入学手続に関する書類は 2022 年 2 月下旬に送付予定です。

（2）入学手続に必要なもの

- ① 本学所定の誓約書
- ② その他必要な書類

（3）入学時に必要な経費（2022 年度予定額）

入学料 282,000 円

授業料 267,900 円〈前期〉

535,800 円〈年間〉

※入学時及び在学中に学生納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

納付金に関する注意事項

- Ⅰ. 前期分の授業料については、2022 年 4 月 1 日から 2022 年 5 月 31 日までの間に納付してください。希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。
- Ⅱ. 払込済の入学料は、次の場合を除き、返還しません。
 - ① 入学手続を行わなかった場合

② 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

Ⅲ. 入学手続きを完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続きを行ってください。所定の入学辞退の手続きを行わない場合は、2022年4月1日付で入学したこととなり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

7. 注意事項・その他

（１）試験に関する全般的注意事項

- ・試験等に変更等があった場合は、本研究科ホームページ（URL：<https://www.kagawa-u.ac.jp/faculty/15461/27048/>）でお知らせします。
- ・試験当日は、必ず受験票を持参してください。
- ・それぞれの試験開始時刻 30 分前までに、各自試験場に集合してください。
- ・試験開始後 15 分以上遅刻した場合は、受験できません。
- ・専門分野別試験の区分によっては、控室での待機時間が長くなる場合があります。待機中は控室から退出できません。

（２）新型コロナウイルス感染症対策に伴う本学入学者選抜の対応について

新型コロナウイルス感染症の感染の状況を踏まえ、入学者選抜試験の実施等が変更となる場合があります。変更のある場合は、香川大学 HP にてお知らせしますので、出願前に最新の情報を必ずご確認ください。

（３）長期履修学生について

長期履修学生とは、職業等を有している等の事情で、通常の学生よりも単位取得のための学習時間や研究指導を受ける時間が制限されるため、標準修業年限（2 年）を超えて在学しなければ課程を修了できないと考えられる場合に、申請に基づき審査し、許可した上で、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することが認められた者です。長期履修学生は、修業年数に関係なく、標準修業年限分（2 年）の授業料で修学することができます。

詳しくはお問い合わせください。

国立大学法人 香川大学 大学院新研究科設置準備事務局

〒760-8523 香川県高松市幸町 2 番 1 号

TEL 087-832-1854

E-mail junbijim-h@kagawa-u.ac.jp

（４）障がい等のある入学志願者等との事前相談について

障がいがある等、受験及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある者は、出願に先立ち、あらかじめお問い合わせください。

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に、相談してください。

特に、次表に相当する障がい等がある者については、申出がなかった場合、受験の際、障がい等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。次表から判断できない場合は、お問合せください。

区分	障がい等の程度
視覚障がい	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障がいが高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障がい	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱	・慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの
その他	上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とするもの (例) 発達障害 (ADHD、自閉症等)、パニック障がい、頻尿

①相談の方法

申請書（本学所定又は本学が必要とする内容が記されたもの、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

②問合せ先

国立大学法人 香川大学 大学院新研究科設置準備事務局
〒760-8523 香川県高松市幸町2番1号
電話 087-832-1854
E-Mail junbijim-h@kagawa-u.ac.jp

（５）個人情報の取扱いについて

出願書類に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別その他の個人情報）は、入学者選抜、合格通知及び入学手続きを行うために利用します。また、同個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料及び教育研究活動の支援と本学の発展のための活動に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。

入学者選抜における個人成績は、入学者選抜の他、調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析、各種統計資料作成）及び合格者の入学後の教務・学生支援関係業務にのみ使用し、本学の関係教職員以外への提供は行いません。また、調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

8. 指導教員一覧

出願に先立って希望する指導教員に連絡をとり、研究分野や研究内容の確認を行ってください。
他大学出身者、社会人で、希望する指導教員の選択にあたって相談・助言等が必要な場合は、大学院教学センターまでご相談ください（本学の学生も利用可能です）。

なお、出願時に希望する指導教員は、暫定であり、指導教員の確定は、入学後となります。

香川大学 大学院教学センター

〒760-8521

香川県高松市幸町1番1号

TEL 087-832-1519

E-mail gs-shien-h@kagawa-u.ac.jp

※指導教員一覧は次頁以降参照。

第I区分（おもに教育・人文分野）

氏名	研究テーマ
青木 高明	理論物理学：特に非線形力学
石川 雄一	コーチング論，スポーツトレーニング論，運動生理学
石井 一也	平和学
上野 耕平	スポーツ教育学，スポーツ心理学
畦 五月	食物学：食品中の機能性成分に関する研究
緒方 宏海	東アジアの社会と文化に関する文化人類学的研究
小方 朋子	特別支援教育：特別支援教育における理念・制度に関する研究
小方 直幸	教育の職業的レリバンス，大学の経営と政策
北林 雅洋	理科の教育目標と評価，指導法，歴史に関する研究
小西 憲一	書道，特に篆刻
小森 博文	生物化学：タンパク質の構造と機能に関する研究
坂井 聡	障がいのある子どものコミュニケーション指導
櫻井 佳樹	人間形成の本質に関する・哲学的・思想的研究
篠原 渉	植物系統進化学：植物の適応，進化，分類に関する研究
園部 裕子	国際社会学，国際移動・開発とジェンダー
平 篤志	人文地理学，特に社会と経済に関する地理学
高木 由美子	有機化学：特に生体触媒化学，新規機能性物質合成をめざした有機合成化学
高野 啓児	代数学：主として表現論
高橋 明郎	戦後台湾の文化政策と文化
高橋 尚志	実験物理学：特に固体及び表面の物性実験，及び物理教育
寺尾 徹	地球物理学：特に気象学
轟木 靖子	言語学，特に日本語の音声に関する研究
永尾 智	英語学，特に英語史
西田 智子	障害児病理学：早産児，障害児の認知機能発達に関する研究
藤元 恭子	保育内容学：幼児期の身体表現領域における内容と指導法に関する研究
松井 剛太	保育学：障害のある子や保育の中で「ちょっと気になる子」の発達支援に関する研究
松本 一範	動物生態学：特に魚類の生態に関する研究
松本 博雄	発達心理学：乳幼児の言語発達と保育における指導法に関する研究
水野 康一	異文化間コミュニケーション研究
三宅 岳史	哲学，特に哲学史
宮崎 英一	技術科教育，機械：光応用計測に関する研究，コンピュータを応用した教材及び障害者支援システム開発
宮島 美花	アジアおよびコリアンの研究
守田 逸人	日本史学，古代・中世社会経済史，史料学
山神 眞一	運動学，特に体力・運動能力に関する発育発達学的研究
山岸 知幸	ケア概念の教育方法学的検討
山下 直子	日本語教育，特に第二言語習得に関する研究
山田 貴志	ヒューマンインタフェース：コミュニケーションを支援するヒューマンインタフェースに関する研究
Lim Long Yew	高等教育国際化の比較研究

第II区分（おもに法学分野）

氏名	研究テーマ	筆記試験の専門科目
青木 丈	税法	税法
天田 悠	刑法	刑法
鹿子嶋 仁	行政法	行政法
春日川 路子	民事訴訟法	民事訴訟法
金子 太郎	公共選択論	政治学
岸野 薫	アメリカ憲法史	憲法
金 宗郁	地方自治に関する政治・行政分析	政治学
肥塚 肇雄	新技術と法	商法
柴田 潤子	経済法	経済法
塚本 俊之	フランス憲法史	憲法
辻上 佳輝	民法	民法
堤 英敬	選挙分析・政党政治の研究	政治学
平野 美紀	刑事法：患者の自己決定権，加害者処遇，被害者支援制度	刑法
藤井 篤	脱植民地化に関する政治史的研究	政治学
細谷 越史	労働基準法，労働契約法	労働法
前原 信夫	金融規制における法的諸問題の研究	商法
溝渕 彰	商法	商法
三野 靖	行政の民営化	行政法
山本 慎一	国際法：国際安全保障及び国際平和活動の法的側面に関する研究	国際法
山本 陽一	法哲学	法哲学
吉井 匡	公正な裁判に関する研究，刑事司法法制史に関する研究	刑事訴訟法

第III区分（おもに経済学分野）

氏名	研究テーマ	筆記試験の専門科目
青木 宏之	現代日本の雇用システムに関する研究	経営管理論
天谷 研一	ゲーム理論と情報の経済学	経済理論
井上 善弘	監査論研究	会計学
海野 晋悟	金融政策の研究	金融論
大杉 奉代 ★	日本企業の経営戦略に関する研究	経営戦略論
岡田 徹太郎	経済政策の日米欧比較研究	経済政策・財政
沖 公祐	資本主義の理論的研究	経済理論
加藤 美穂子	福祉経済研究	経済政策・財政
塩谷 剛	イノベーション・マネジメントに関する研究	経営戦略論
繁本 知宏	金融に関する財務会計の研究	会計学
向 渝	アジア企業の国際ビジネス展開	経営戦略論
高橋 昂輝 ★	社会と空間に関する研究	人文地理学
張 曉紅	東アジア経営史・経済史研究	企業論
趙 命来	企業のグローバル化に関する研究	マーケティング論
長山 貴之	日本財政の研究	経済政策・財政
西成 典久	まちづくり実践・文化観光・地域魅力学	都市計画
朴 恩芝	財務会計に関する研究	会計学
朴 鏡杓	管理会計の理論と実践に関する研究	会計学
原 直行	地域活性化研究	地域活性化論
久松 博之	計量経済モデルの推定と検定	経済統計学
福村 晃一	空間経済学，都市・地域経済学，公共経済学に関する研究	経済政策・財政
藤原 敦志	金融システムの研究	金融論
藤村 和宏	マーケティングおよび消費者行動に関する理論的・実証的研究	サービス・マネジメント論
二ツ山 達朗	宗教と観光の関係に関する研究	観光人類学
古川 尚幸	商品学の視点から見た環境ならびに地域に関する実証的研究	商品学
星野 良明	一般均衡分析の研究	経済理論
松岡 久美	組織マネジメントに関する研究	経営管理論
宮脇 秀貴	マネジメントコントロールと原価計算	会計学
持田 めぐみ	マクロ経済学の研究	経済理論
姚 峰	アジア経済の統計分析	経済統計学
安井 敏晃	私保険の研究	保険論
山口 尚美	企業の責任に関する研究	企業論
山崎 隆之	観光振興に資する地域の情報発信ならびに施策に関する研究	観光学
横山 佳充	日本の計量モデルの作成	経済統計学
渡邊 孝一郎	地域商業とまちづくりに関する研究	流通論

★については、2022年度は指導教員として志望することはできません。

第Ⅳ区分（おもに工学・芸術分野）

Ⅳ-1：エクスペリエンスデザイン&アート・数理データサイエンス

氏名	研究テーマ
青木 高明	理論物理学：特に非線形力学
青山 夕夏	器楽（独奏およびアンサンブル）の演奏と演奏解釈
荒川 雅生	課題解決型最適化システムの開発に関する研究
石塚 昭彦	プロダクトデザイン，サービスデザイン，イノベーションデザインに関する研究
井藤 隆志	プロダクトデザイン，3DCADに関する研究
大場 晴夫	プロダクトデザイン，インタラクションデザイン，サービスソリューションに関する研究
勝又 暢久	宇宙構造物工学，航空宇宙工学，システムエンジニアリングに関する研究
北林 雅洋	理科の教育目標と評価，指導法，歴史に関する研究
北村 尊義	UXのためのデザインとその評価手法に関する研究
國枝 孝之	マルチメディア・メタ情報処理，イノベーション創出に関する研究
後藤田 中	身体知を対象としたマルチメディアとネットワークコミュニティを用いた教育システムのデザインと開発研究
小森 博文	生物化学：タンパク質の構造と機能に関する研究
篠原 渉	植物系統進化学：植物の適応，進化，分類に関する研究
柴田 悠基	現代美術，メディアアートに関する研究
高木 由美子	有機化学：特に生体触媒化学，新規機能性物質合成をめざした有機合成化学
高野 啓児	代数学：主として表現論
高橋 尚志	実験物理学：特に固体及び表面の物性実験，及び物理教育
竹内 謙善	数値シミュレーションに基づく構造最適設計
寺尾 徹	地球物理学：特に気象学
林 敏浩	マルチメディア・情報ネットワーク技術を応答した高度教育システムの開発研究
東浦 亜希子	器楽（鍵盤楽器），独奏及びアンサンブル全般の演奏解釈と奏法並びにその指導法
平見 尚隆	中小企業の国際化とイノベーションエコシステム形成に関する研究
古草 敦史	油彩画，水彩画，ドローイングの制作及び絵画論研究
松本 一範	動物生態学：特に魚類の生態に関する研究
三宅 岳史	哲学，特に哲学史
宮崎 英一	技術科教育，機械：光応用計測に関する研究，コンピュータを応用した教材及び障害者支援システム開発
山田 貴志	ヒューマンインタフェース：コミュニケーションを支援するヒューマンインタフェースに関する研究
山中 隆史	対話プロセスのデザインに関する研究
若井 健司	発声・歌唱の研究及び実践的表現と地域舞台芸術振興の研究

Ⅳ-2：建築・都市環境

氏名	研究テーマ
荒木 裕行	地盤と土構造物の常時・地震時安定性に関する研究
石塚 正秀	水循環システム，河川環境マネジメント，乾燥域の大気環境に関する研究
岡崎 慎一郎	RC構造物のライフサイクルマネジメントに関する研究
角道 弘文	溜池，用水路等の水域における多面的機能の評価と活用
釜床 美也子	建築構法に関する研究
紀伊 雅敦	都市活動の定量的評価，環境政策のシステム的分析
末永 慶寛	水域環境評価システムの開発に関する研究
玉置 哲也	地球温暖化の影響および対策の評価，都市・環境の持続可能な開発
寺林 優	プレート収束帯におけるテクトニクスに関する研究
中島 美登子	高齢者・障がい者の居住空間に関する研究
宮本 慎宏	歴史的建造物の耐震性能に関する研究
山中 稔	地盤環境工学と地盤災害に関する研究
吉田 秀典	汚染土壌／汚染水の浄化に関する研究，データサイエンスとAIを活用したレジリエンス向上に関する研究

IV-3 : 防災・危機管理

氏名	研究テーマ
井面 仁志	システム信頼性評価・設計へのソフトコンピューティングの応用に関する研究
梶谷 義雄	都市・地域の減災計画と危機管理に関する研究
高橋 亨輔	インテリジェントコンピューティングの応用に関する研究
竹之内 健介	災害情報、災害リスクコミュニケーションに関する研究
地元 孝輔	地震工学に関する研究
野々村 敦子	GISを用いた環境・防災情報解析に関する研究

IV-4 : 情報システム・セキュリティ

氏名	研究テーマ
安藤 一秋	言葉をコンピュータで処理する基礎技術とその応用に関する研究
香川 考司	プログラム言語処理系及びネットワークを利用したプログラミング支援環境に関する研究
亀井 仁志	情報ストレージシステム, オペレーティングシステムに関する研究
喜田 弘司	機械学習技術のサイバーセキュリティへの応用に関する研究
米谷 雄介	知的支援システム, eポートフォリオ, データ解析
最所 圭三	スケーラブルなWebサービスやネットワーク管理, システムソフトウェアに関する研究
高木 智彦	高品質のソフトウェアを効率的に開発する手法に関する研究
富永 浩之	知識情報処理及びネットワークとマルチメディア技術の教育支援システムなどへの応用に関する研究
福森 聡	ヒューマンインターフェース, 認知科学, パーチャルリアリティ
八重樫 理人	ソフトウェア/システムデザイン法とその応用に関する研究

IV-5 : 情報通信

氏名	研究テーマ
石井 光治	通信理論, 符号理論, 信号処理, 制御理論に関する研究
北島 博之	非線形ネットワークにみられる分岐とカオスに関する研究
小玉 崇宏	超高速光処理を基にした光デバイスとその応用
神野 正彦	光ファイバ通信ネットワークに関する研究
丹治 裕一	科学計算のためのアルゴリズムとハードウェア実現
藤本 憲市	光マニピュレータ, 非線形力学と制御に関する研究
堀川 洋	統計的パターン認識及び非線形システム解析に関する研究
松下 春奈	ソフトコンピューティング技術の設計と非線形問題への応用に関する研究
丸 浩一	導波路型光デバイスと光通信システム・センシングシステムへの応用に関する研究
三木 信彦	次世代無線通信システムにおける高速・大容量化に関する研究

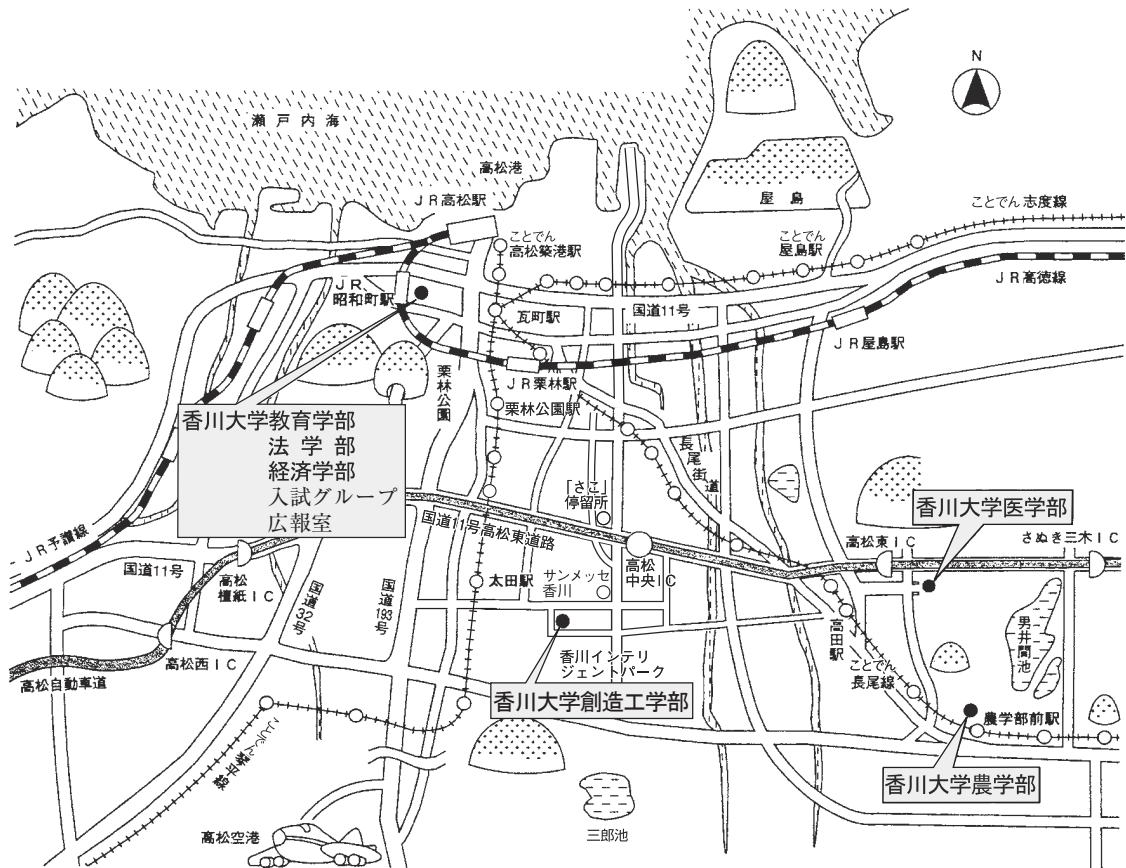
IV-6：機械システム

氏名	研究テーマ
石原 秀則	ロボットの知能化及び高機能化に関する研究
石丸 伊知郎	光学技術による超精密計測及び生体細胞計測に関する研究
井上 恒	身体運動のバイオメカニクス，人間機械系設計に関する研究
奥村 幸彦	CO ₂ 排出削減のためのガスエンジンおよびバーナー開発，スーパーコンピュータによる熱流体シミュレーション
郭 書祥	医療とバイオ用マイクロシステムの設計と特性評価及び制御に関する研究
佐々木 大輔	空気圧ソフトアクチュエータを使用した人間親和ロボットの開発
佐藤 敬子	人間の感覚知覚情報処理，色覚メカニズム，色覚バリアフリーに関する研究
下川 房男	マイクロ・ナノファブリケーション技術を用いたセンシングデバイスに関する研究
鈴木 桂輔	道路および海洋交通環境の予防安全技術，人間工学（ヒューマン・マシン・インタフェース）に関する研究
高尾 英邦	指先を凌駕する触覚センシング機能を目指したナノテクノロジーセンサの研究
高橋 悟	マシンビジョンに基づく動画像情報システムに関する研究
寺尾 京平	バイオナノテクノロジーによる単一細胞・単一分子操作
林 純一郎	コンピュータビジョンによる環境認識及び人間支援に関する研究
前山 祥一	自律移動ロボットの要素技術とその探査・農業等への応用に関する研究
吉村 英徳	自動車軽量化や医療デバイスなどの部品等の製造技術および性能評価に関する研究

IV-7：材料物質科学

氏名	研究テーマ
石井 知彦	錯体化学，量子材料化学，コンピュータ材料設計学に関する研究
磯田 恭佑	機能性有機および錯体材料の創製と応用に関する研究
上村 忍	有機分子・高分子の界面での構造構築およびその挙動に関する研究
掛川 寿夫	生命現象に影響を及ぼすバイオマテリアルに関する研究
楠瀬 尚史	多機能なセラミックス複合材料の開発に関する研究
小柴 俊	半導体ナノ構造の作製と評価に関する研究
須崎 嘉文	大気圧プラズマ・化学吸着単分子膜を用いた機能性薄膜・表面の作製と光・電子的・化学的特性の評価に関する研究
田中 康弘	原子レベル微細組織評価を用いた構造材料の性能向上，機能性材料の開発に関する研究
鶴町 徳昭	光と物質の相互作用に関する研究
馮 旗	機能材料・デバイス，無機工業材料に関する研究
舟橋 正浩	液晶や高分子を用いたソフトマターエレクトロニクス材料に関する研究
松田 伸也	構造用セラミックス・繊維強化複合材料の変形，損傷，破壊機構と強度信頼性に関する研究
松本 洋明	構成・構造金属材料の合金設計・組織制御・加工プロセスに関する研究
宮川 勇人	磁気デバイス及び磁性材料の作製と評価に関する研究

香川大学試験場案内図



教育学部・法学部・経済学部・入試グループ・広報室

J	R	高德線「高松駅」→「昭和町駅」下車 徒歩5分(東へ250m)
バ	ス	J R 高松駅発(高松駅前①②番のりば) ことでんバス ⑪下笠居線・昭和町経由便 「高松駅」→「幸町」下車 徒歩2～3分(西へ150m) ことでんバス ⑬下笠居線・宮脇町経由便又は⑮香西線・宮脇町経由便 「高松駅」→「宮脇町」下車 徒歩2～3分(北へ150m) ことでんバス まちなかループバス ①東廻り ②西廻り 「高松駅」→「香川大学教育学部前」下車すぐ 「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ
		高松空港発 空港連絡バス→「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車 徒歩10分～15分(西へ750m)
		タクシー J R 高松駅→香川大学 約10分 約800円

医学部

電	車	ことでん長尾線「高松築港駅」→「高田駅」下車 バス5分 又は 徒歩25分(北東へ1.5km)
バ	ス	J R 高松駅発(高松駅前⑦番のりば) ことでんバス ⑦高松医療センター・大学病院線 「高松駅」→「大学病院」下車 徒歩1分(北へ50m)
		タクシー J R 高松駅→香川大学医学部 約30分 約4,000円

創造工学部

電	車	ことでん琴平線「高松築港駅」→「太田駅」下車 バス11分
バ	ス	J R 高松駅発(高松駅前⑧番のりば) ことでんバス ⑥川島線・レインボー通り経由便 「高松駅」→「香川大学創造工学部前」下車 徒歩1分(南へ50m) ことでんバス ⑥川島線・サンメッセ香川経由便 「高松駅」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分(西へ500m)
		高速バス「高松中央インター南」下車 北西へ徒歩3分(200m) 又は 「高松中央インターバスターミナル」下車 西へ徒歩5分(380m) ことでんバス ⑥川島線・サンメッセ香川経由便 ⑥西植田線 「さこ」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分(500m) ※徒歩の場合、「高松中央インター南」から創造工学部まで約25分(約1.8km) 「高松中央インターバスターミナル」から創造工学部まで約30分(約2.0km)
タ	ク	シー J R 高松駅→香川大学創造工学部 約30分 約3,500円

農学部

電	車	ことでん長尾線「高松築港駅」→「農学部前駅」下車 徒歩2分(北へ100m)
バ	ス	大川バス 引田線(高松駅前⑧番のりば)「高松駅」→「農学部前」下車 徒歩5分(北へ250m)
タ	ク	シー J R 高松駅→香川大学農学部 約40分 約4,400円

(注) 電車、バス等の運行時刻については、受験者各自で確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

入 学 試 験 等 に 関 す る 照 会 先

大学院新研究科設置準備事務室

TEL (087) 832-1854

〒760-8523 高松市幸町 2 番 1 号

教育・学生支援部 入試グループ

TEL (087) 832-1182

〒760-8521 高松市幸町 1 番 1 号

香川大学ホームページ

<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

～ 不測の事態発生時における諸連絡について ～

災害等の不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については、上記の本学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

また、入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので、試験当日まで注意してご覧ください。

様式（１）

香川大学大学院創発科学研究科（修士課程）入学願書

フリガナ			受験番号 ※1		
氏名			生年月日	年 月 日生 (満 歳)	
志望する 選抜方法※2	推薦選抜 ・ 一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 外国人留学生特別選抜				
出身大学	出身大学名等 国・公・私立 大学 学部 課程 学科 専攻 年 月 日 卒業・卒業見込				
現住所	〒 — 電話番号 () — 携帯電話 () —				
上記以外の緊急 連絡先 ※現住所と同じ 場合は記入不要	〒 — 電話番号 () — 携帯電話 () —				
勤務先	企業名等				
	所在地	〒 — 電話番号 () —			
志望する指導教員					
受験する専門分野別試験の区分※3		筆記試験で受験 する科目※4			
音楽・美術の選択 (該当者のみ) ※5		音楽(声楽) ・ 音楽(器楽) ・ 音楽(その他) ・ 美術			
筆記試験免除申請の有無※6		有 ・ 無			
入学意思の確認 (推薦選抜志願者のみ)		☐ 本推薦選抜に合格した場合、香川大学大学院創発科学研究科に入学 することを確約します。			

※1 記入しないでください。

※2 志望する選抜方法を一つだけ選び、○で囲んでください。

※3 学生募集要項の「8. 指導教員一覧」を参照し、志望する指導教員に対応する区分を記号で記入してください。第Ⅳ区分については、Ⅳ-1～Ⅳ-7のいずれかを記入してください。

※4 筆記試験で受験科目を選択する必要がある「専門分野別試験の区分」を受験する者は、学生募集要項の「8. 指導教員一覧」を参照した上で、受験科目を記入してください。

※5 第Ⅳ-1区分受験者で音楽又は美術を中心に学修・研究を行う者のみ、一つを選んで○で囲んでください。

※6 第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分の専門分野別試験を受験する者のみが対象です。

筆記試験免除の申請を行っているものは、「有」を○で囲んでください。

区分 コード	3960999990
-----------	------------

受付 金融 機関 出納 印	
---------------------------	---

金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）
の出納印のない場合は無効となります。

様式（２）

履 歴 書			
氏名			受験番号 ※
区分	年月日	事 項	
学 歴			
職 歴			
特技及び 資格等			

1. 学歴は、高等学校卒業から記入し、大学は学部・学科（課程・専攻）名まで記入してください。ただし、外国人留学生特別選抜を出願する者は、小学校入学から記入してください。
2. 学歴・職歴等が記入しきれない場合は、用紙をコピーして記入してください。
3. この履歴に虚偽の事項又は記入すべき事項を記入していないことが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
4. ※印欄は記入しないでください。

様式（３－１）

氏名		受験番号	※
----	--	------	---

志望理由書

（推薦選抜・一般選抜・外国人留学生特別選抜による志願者用）

本研究科を志望する理由を，日本語（500 字程度）または英語（250words 程度）で記入すること。

--

※印欄は記入しないでください。

様式（３－２）

氏名		受験番号	※
----	--	------	---

志望理由書

（社会人特別選抜による志願者用）

本研究科を志望する理由を，社会人としての経験を踏まえながら，1,000 字程度で記入すること。

--

※印欄は記入しないでください。

様式（４）

氏名		受験番号	※
----	--	------	---

研究計画書（共通）

志望する指導教員		受験する専門分野別 試験の区分*	
予定している研究テーマ			
①研究の背景，②研究テーマの説明，③研究方法，④その他，特に記述したいことを，日本語（1,000 字以内）または英語（500 words 以内）で記入すること。			

* 志望する指導教員に対応する「専門分野別試験の区分」を記入してください（募集要項の「８．指導教員一覧」参照）。

※印欄は記入しないでください。

様式（5）

推 薦 書

（推薦選抜）

香川大学長 殿

大学

学部

学科 卒業・卒業見込

氏名

上記の者は人物・学業成績ともに優れ、大学院創発科学研究科で教育を受けるにふさわしいものと認め、責任をもって推薦いたします。

推薦理由等

--

※ 被推薦者が香川大学学生以外である場合、推薦理由等を記入してください。

所属・職名

推薦者氏名

印

様式（6）

氏名		受験番号	※
----	--	------	---

小論文

（推薦選抜・外国人留学生特別選抜による志願者用）

社会の複雑性や不確実性の高まりに伴い、私たちの暮らす地域や社会が予測・予見できない問題に直面することがさらに増えるといわれている。そのため、多角的な視点で問題を捉え、異なる分野の知見を取り入れながら課題解決に当たろうとする発想が重要である。特定の専門分野の見識だけでは解決が不可能な課題を一つ取り上げ、それがどのような問題か、また、どのような解決策が考えられるかを、日本語（1,000 字程度）または英語（500 words 程度）で論じなさい。

--

※印欄は記入しないでください。

派 遣 書

（社会人特別選抜を受験する者で勤務先から派遣される志願者用）

香川大学長 殿

志願者 _____ を貴学大学院創発科学研究科に
派遣します。

年 月 日

勤務先名

所属長名

印

香川大学大学院創発科学研究科 筆記試験免除申請書			
2022 年度創発科学研究科受験にあたり，筆記試験の免除について申請いたします。			
年 月 日			
香川大学大学院創発科学研究科長 殿			
所 属 氏 名		大学	学部 学科
フリガナ		国籍	
氏 名		月 日	年 月 日
現 住 所 （ 連 絡 先 ）	〒 ー 電 話（ ） 携帯電話（ ）		
志望する選抜方法 ※1	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 外国人留学生特別選抜		
学籍番号（香川大 学 学 生 の み）			
志望する指導教員			
免除を希望する専 門分野別試験の区 分※2		免除を希望する 受験科目※3	

※1 志望する選抜方法を一つだけ選び，○で囲んでください。

※2 学生募集要項の「8. 指導教員一覧」を参照し，希望する指導教員に対応する「専門分野別試験の区分」を記入してください。

※3 筆記試験で受験科目を選択する必要がある「専門分野別試験の区分」を受験する者は，学生募集要項の「8. 指導教員一覧」参照した上で，受験科目を記入してください。

研究業績調書

（社会人特別選抜で筆記試験の免除を希望する志願者用）

フリガナ				受験番号
氏 名				※
著書，論文，研究報告等の題目 （主要なもの 5 点以内） ○共同執筆のものは，分担執筆した箇所を明示すること。 ○雑誌等の論文の場合は，雑誌名，巻号，ページを論文タイトルの次に記入すること。	発行機関 発行所 発表会場	発表年月日	左記の著書等の概要	

※印欄は記入しないでください。

2022年度

香川大学大学院創発科学研究科(修士課程)

受験票

受験番号	※	
フリガナ		
氏名		
志望する 選抜方法 *1	☐ 推薦選抜	☐ 一般選抜
	☐ 社会人特別選抜	☐ 外国人留学生 特別選抜
受験する専門 分野別試験の 区分*2		
受験する 専門科目*3		

*1 志望する選抜方法の一つだけを選び、チェックしてください。

*2 受験する専門分野別試験の区分を記入してください。第Ⅳ区分は、Ⅳ-1～Ⅳ-7のいずれかを記入してください。

*3 筆記試験で受験科目を選択する必要がある「専門分野別試験の区分」を受験する者のみ記入してください。

(注) 1 ※印欄は記入しないでください。

2 この受験票は机上に提示しておいてください。

3 この受験票を紛失した場合は、直ちに届け出てください。

2022年度

香川大学大学院創発科学研究科(修士課程)

写真票

受験番号	※	
フリガナ		
氏名		
志望する 選抜方法 *1	☐ 推薦選抜	☐ 一般選抜
	☐ 社会人特別選抜	☐ 外国人留学生 特別選抜

写真貼付欄
(注意)

出願以前6か月以内に撮影した正面、上半身無帽の写真(縦4cm×横3cm)の裏に氏名を記入してから貼付してください。

(注) ※印欄は記入しないでください。

香川大学

切り取り線

電信扱

香川大学

2022年度

検定料 領収書

振込金額 (検定料)	¥30000	手数料	
振込先銀行 (○で囲む。)	預金種別	口座番号	
① 百十四銀行 本店	普通預金	2785280	
② 香川銀行 本店	普通預金	2155989	
③ 三菱UFJ銀行 高松中央支店	普通預金	0547300	
受取人	国立大学法人香川大学		
区分コード			
3960999990			
フリガナ			
志願者氏名 NAME			

1. 金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行を除く。)の出納印のない場合は無効となります。

2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きをしたものは無効となります。

受付金融機関出納印

印紙
2

香川大学

検定料 振込依頼書(入金票)

(受付金融機関保管用)

香川大学

電信扱

【志願者の方へのお願い】

1. 郵便局・ゆうちょ銀行を除く金融機関から振り込んでください(ATMからの振込は不可)。

2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きをしたもの、金融機関の出納印のないものは無効となります。

依頼日	年 月 日	振込受付期間	【推薦・第Ⅰ期】2021年7月12日(月)～2021年7月30日(金) 【第Ⅱ期】2021年11月12日(金)～2021年11月30日(火)
振込先銀行 (○で囲む。)	預金種別	口座番号	
① 百十四銀行 本店	普通預金	2785280	金額 千 百 十 万 千 百 十 円 ¥30000
② 香川銀行 本店	普通預金	2155989	
③ 三菱UFJ銀行 高松中央支店	普通預金	0547300	
受取人	コリツカ'イ'クワジツカ'ワ'イ'ウ 国立大学法人香川大学		
受付金融機関へ → この部分を必ず打電してください。			
区分コード	志願者のフリガナ		
3960999990			
志願者氏名 NAME			
志願者住所 ADDRESS			
電話 ()	—		

内 訳

現金

当 手

他 手

手数料

手数料ご依頼人負担

受付金融機関へのお願い

打電については、依頼人名の前に区分コードを打電してください。

受付金融機関出納印

3

※必ず入学願書を持参し「受付金融機関出納印」欄①にも押印を受けてください。

あ て 名 票

- (注) 1 合格通知，入学手続書類等及び入学式等に関する通知用です
ので，確実な受信先を記入してください。
2 住所は必ず番地まで正確に記入してください。
3 住所がアパート，団地の場合は，必ずアパート名又は団地名
まで記入してください。
4 ※印欄は記入しないでください。
5 出願書類等と一緒に提出してください。

合格通知を受け取る宛先を記入してください。

□□□ — □□□□ (住所)
(志願者の氏名) 様
(電話番号)
(受験番号) ※

2022年2月下旬頃に入学手続書類等を受け取る宛先を記入してください。
(前期日程受験者のみ)

□□□ — □□□□ (住所)
(志願者の氏名) 様
(電話番号)
(受験番号) ※

【封筒貼付用あて名シート】

【注意事項】

切り取り線に合わせて切り取ってください。

市販の「角2封筒」にこのシートを貼り、提出書類を封入した後、提出してください。

また提出する前に、提出書類に漏れがないか郵送書類チェックシートで確認してください。

「簡易書留・速達」とし、それぞれの出願期間最終日（推薦・第Ⅰ期：2021年7月30日（金曜日）、第Ⅱ期：2021年11月30日（火曜日））の17時までに到着するように発送してください。

なお、原則は郵送にて提出いただきますが、出願期間最終日のみ持参での提出を認めます。

切り取り線

速 達

〒760-8521

香川県高松市幸町1番1号

香川大学 教育・学生支援部
入試グループ 宛

【 大学院創発科学研究科
(修士課程) 出願書類在中 】

簡易書留・速達

折り曲げ厳禁

水濡れ厳禁

(郵便局記入欄)

簡易書留
引受番号

差出人	住所	〒 電話番号	
	氏名		
志望する選抜方法	☐ 推薦選抜	☐ 一般選抜	
	☐ 社会人特別選抜	☐ 外国人留学生特別選抜	
	※上記いずれかを選択し、 ☐ にチェックを付けてください。		
受験する専門分野別 試験の区分	☐ 第Ⅰ区分（おもに教育・人文分野）	☐ 第Ⅱ区分（おもに法学分野）	
	☐ 第Ⅲ区分（おもに経済学分野）	☐ 第Ⅳ区分（おもに工学・芸術分野）	
	※上記いずれかを選択し、 ☐ にチェックを付けてください。		

【郵送書類チェックシート】

封筒中に次の書類等が入っていることを、下表をもとに確認してください。

※このチェックシートを提出する必要はありません。

全員が提出するもの

	出願書類等	注 意 事 項	チェック欄
①	入 学 願 書 履 歴 書 志 望 理 由 書	ダウンロードして印刷したA4用紙に必要事項を記入したもの ※入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に検定料領収印が押されていること	
②	成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの 本学卒業生及び卒業見込みの者は厳封の必要はない	
③	卒業（見込）証明書	出身大学（学部）長が作成したもの	
④	研 究 計 画 書	ダウンロードして印刷したA4用紙に必要事項を記入したもの	
⑤	受 験 票 ・ 写 真 票	ダウンロードして印刷したA4用紙を切り取り、必要事項を記入したもの ※写真票の所定欄に出願以前 6 ヶ月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真を貼付すること	
⑥	受験票等返送用封筒	ダウンロードして印刷した「受験票等送付用住所記載シート」に必要事項を記入し、 角形 2 号の封筒に貼付けたもの ※410円分（定型外 5 0 g 以内の速達料金分）の切手を貼付すること	
⑦	あ て 名 票	ダウンロードしたA4用紙に必要事項を記入したもの	

上記のほかに該当者が提出するもの

	出願書類等	注 意 事 項	チェック欄
⑧	旅 券 の 写 し	日本国籍を有しない者のみ 現在日本在住の人は、住民票または在留カード（両面）の写し	
⑨	TOEICスコア証明書等	一般選抜、推薦選抜の出願者のみ スコア証明書の原本	
⑩	小 論 文	推薦選抜、外国人留学生特別選抜の出願者のみ ダウンロードして印刷したA4用紙に必要事項を記入したもの	
⑪	推 薦 書 (推薦選抜用)	推薦選抜の出願者のみ ダウンロードして印刷したA4用紙に必要事項を記入したもの	
⑫	派 遣 書	社会人特別選抜の出願者のみ ダウンロードして印刷したA4用紙に必要事項を記入したもの 派遣書のない者で、企業等の機関に所属している者のみ、勤務先の企業等が作成した在職証明書（任意様式）	
⑬	推 薦 書 (外国人留学生特別選抜用)	外国人留学生特別選抜のみ 大学等が作成したもの（任意様式）	
⑭	日本語能力試験の成績に関する証明書	外国人留学生特別選抜のみ 日本語による学修・研究を行う志願者で、日本留学試験（日本語）または日本語能力試験を受験しているもの	

受験票等送付用住所記載シート

		速達			
郵便切手		□□□-□□□□			
		府都 県道			
		区市 郡			
		番地			
		号			
		殿			
速達		(受験票等在中)			
郵便番号 760-8523 香川県高松市幸町2番1号 国立大学法人 香川大学 大学院新研究科設置準備事務室 電話 (087) 832-1854					

切り取り線